

## 令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	15. 納税案内委託事業
項	2. 徴税費	中事業	
目	2. 賦課徴収費	担当所属	債権管理課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額				
臨時	単独	計画	0	0	0	実施計画	第5章 基本施策5	市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち (市民参加・自治体運営)	令和3年度	30,309	
								行財政運営	令和4年度	0	
								施策3	税の公平、公正、効率的賦課と収入率向上を目指します	令和5年度	10,103
										令和6年度	10,103
										令和7年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		9,687

財源内訳	一般財源
本年度当初要求額	0
本年度当初査定額	9,687

**<事業に関する説明>**

<p>(事業の概要) 債権管理課内に納税案内センターを設置し、以下の業務を委託します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 架電および文書による未納者への催告</li> <li>・ 口座振替の勧奨および申請書送付受付</li> </ul>	<p>(事業の目的) 厳しい財政状況が続く中、歳入の根幹であるとともに貴重な自主財源である市税を確保していくことが、今後の市政運営における重要な課題となっている。</p> <p>そのためには、納税者一人ひとりが納税の重要性を認識した上で、自らの滞納状況を早期に把握していただき、速やかな自主納付につなげることで、現年分収入率の向上を図る。</p>	<p>(事業の効果) ①早期に、かつ繰り返し納税催告を行うことにより、新規滞納者発生と繰越滞納額累積を防止する。</p> <p>②催告とあわせた口座振替勧奨により口座振替利用者を増加させることで、「納付忘れ」による未納者が減少する。</p> <p>③滞納が発生するたびに繰り返し催告することで、納税者の納税意識を高めることができる。</p> <p>④滞納事案の減少に伴い、職員しかできない高額・困難事案に対する滞</p>
<p>(事業実施上の問題点) 架電催告件数の増加。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 通年で実施するため、債務負担行為を設定。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
12	9,687	8,476	1,211

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源											
							差引一般財源	0	9,687	0	9,687